

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ふらっと			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な有資格者（保育士、児童指導員、看護師）を複数人配置し、一人一人に寄り添った支援を実施。	子どもたちの成長や環境に合わせ、支援についての多角的な意見を取り入れることができるよう日々のミーティングや定期的な会議に力を入れている。	研修の受講や更なる資格取得を推進し、より高度で専門的な知識の習得を目指す。 多様なニーズに応えることができるよう取り組んでいく。
2	「生活・運動・学習・創作」に基づいた、わくわくする活動や外出を提供。	子どもたちの特性を考慮し、みんなが楽しめわくわくするような企画を職員全員で考えていける話し合いの場を設けている。 子どもたちと一緒にあって職員も楽しむ距離の近さを心掛けている。	就労や一人暮らしに向けた体験や見学など、将来に向けた様々な企画も検討。
3	駅から近く、大きな公園にも徒歩圏内という環境の良さ。送迎の対応や、ご家庭をサポートするための延長支援も対応。	駅から歩いて来所する訓練ができる。みんなで地下鉄に乗る体験や大きな公園での風あげ、運動など、地域資源を活用した様々な経験・体験ができるよう努めている。	地域の催し物への参加や夜のイベントなど、情報収集を強化していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもとの活動。	近隣に児童館や子ども会がなく、情報収集も難しい。	地域イベントへの参加、自治体等との連携を検討。
2	移行支援など就労に向けた支援。	卒業生が不在で、就労に向けた支援が行えておらず、情報収集もできていない。	様々な事業所と協力し情報を得るとともに、見学や体験、合同イベント等を企画できるよう取り組んでいく
3			